

まなべ「熱中時代」

元気と夢を育む真鍋小学校

学校だより 令和4年度12月6日
土浦市立真鍋小学校(小中一貫校)
文責 酒井 宏之



2学期のまとめの月 12月



早いものでもう12月。1年の最後の月となってしまいました。2022年はみなさんにとってどんな年でしたか？12月は2学期のまとめの月でもあります。学習や生活の「振り返り」をしっかり行い、来年の目標を具体的に立てられればと思います。

さて、11月25日(金)は、ふれあい祭として授業参観でした。保護者の皆様もたくさん来校されました。ふれあい祭では、各学年の実態に応じて、地域の方々や大学の先生、外国の方々などをゲストティーチャーとしてお招きし、様々な交流や体験活動を実施しました。子供たちは机上の授業では見られない、活き活きとした姿を見ることができました。ふれあい祭も本校の特色ある教育活動の一つとして、ずっと行われている行事です。ただ、昨年度と一昨年度の2年間はコロナ禍のため実施できませんでした。3年ぶりに開催できたこと、とてもよかったと思います。今後はコロナのことも考えながら、ふれあい祭の在り方を考えていければと思います。たくさんの方々にご協力、ご来校いただきましてありがとうございました。

ふれあい祭 各学年の活動の様子

1年生 昔の遊びを楽しもう
「けん玉、お手玉体験」
協力者 保護者

1年生は、昔の遊びにチャレンジしました。カルタやけん玉、お手玉等教えていただきながら、お家の人と楽しく遊ぶことができました。

2年生 おもちゃ祭り

2年生は、自分たちでいろいろなおもちゃやゲームを作り、自分たちで楽しみました。見ているお家の方々もいっしょに楽しく遊びました。この後は1年生と交流しました。

3年生 世界の友達と話そう
「国際理解教室」
協力者 市民活動課

土浦ユネスコ協会
3年生は、ドイツ、フランス、台湾、韓国の方々をお迎えし、それぞれの国々の文化やスポーツ習慣などを学びました。さらに外国に興味が高まったようです。

4年生 めざせエコライフ
「廃ガラスアート制作」
協力者 NPO法人エコレン

4年生は、廃ガラスを利用して壁飾りを作りました。真剣に取り組む、一人一人が工夫して素晴らしい作品が仕上がりました。

5年生 手話体験
協力者 社会福祉協議会

5年生は、手話を体験しました。日常会話で使われる手話を学びました。少し難しそうでしたが、一生懸命取り組んでいました。

6年生 キャリア教育
「看護の仕事・他」
協力者 つくば国際大学教授

6年生は、看護の仕事や様々な職業について学びました。その中で実際の赤ちゃんと同じ大きさや重さの人形を抱く体験をしました。



茨城新聞に、真鍋小が！

12月1日(木)の茨城新聞に真鍋小学校のふれあい祭が掲載されました。

国際理解や手話体験

土浦真鍋小 3年ぶり「ふれあい祭」

子どもたちが外国人や地域の人々と触れ合う「ふれあい祭」が11月25日、土浦市真鍋の小立真鍋小(酒井宏之校長)で開かれ、全校児童784人が国際理解や手話体験を楽しんだ。新型コロナウイルスの影響で3年ぶりとなり、学校に歓声や笑い声が響いた。

ふれあい祭は新型コロナウイルス対策として学年を3部に分けて展開した。おもちゃ祭り、廃ガラスアート作り、昔遊びなど学年によって多彩な内容となった。3年生は国際理解教室に参加し、フランス、韓国、台湾、ドイツの4カ国出身者の話を聞いた。ドイツ出身のゲオルグ・フォン・フインゲルフットさんがドイツの物価を「ビールは1杯29円」と紹介すると、児童から「安い」と声が上がった。ゲオルグさんは「ドイツは瓶の再資源化が盛んなので、容器の経費が安くなる」と理由を説明した。韓国出身のイム・ナムフンさんは韓国語で「こんにちは」「ありがとう」といった会話を伝えた。終了後、児童代表は「これからいろんな国のことを勉強して外国にも行ってみたい」と感想を語った。

校長室より

2022年も間もなく終わります。振り返って見ると、例年になく1日1日が早く、あっという間だったような気がします。今年は、コロナ禍ではありましたが、「学びを止めない」という方針で、様々な教育活動を展開してきました。多くの学校行事は、形を変えながらコロナ禍前の姿に戻ってきました。

また、先日は新聞やニュースで「黙食の見直し」等の報道もありました。まもなく土浦市教委から通知が来ますので、その方向性に従い、学校として具体化していきたいと思っています。

さて、次年度から土浦市の小中学校は、「コミュニティ・スクール」(学校運営協議会)が始まります。これまで真鍋小学校は、教職員と保護者、地域の皆様、学校や子供たちに関わる様々な立場の方の協力により、様々な取り組みが行われ成果を出してきました。これらをさらに充実させていくために、学校と子供たちを思う様々な立場の方が一度に集まって話し合いを持てる組織として、学校運営協議会を展開していきます。そして、この取り組みを実現するためには、皆様のご理解とご協力が必要になります。

どうぞよろしくお願いいたします。

